

キッズフェスタ 2022 に参加して

繁成 剛

長野大学 社会福祉学部

1. はじめに

3年ぶりにキッズフェスタ子どもの福祉機器展アンダー18に参加した。筆者は2007年から2019年までは毎年参加し、障害児を対象とした福祉機器の最新情報の収集と出展企業の関係者や全国から来場される療育関係者にお会いして雑談することを楽しみにしていた。所属する大学の授業ではキッズフェスタに行きレポートを書く課題を出していたので学生達の参加も多かった。本稿では新規に出展していたユニークな企業とその製品、もう一つは開発に関わった姿勢保持クッションについてレポートする。

2. IKOU について

IKOUは株式会社Haluのブランド名で、代表取締役の松本友理さんが同社のWebサイトにその理念を表明している。とても素敵な内容なので少し長い引用したい。「IKOUは、障がいの有無に関わらず、使う人に価値を感じてもらえるものづくりを目指す、乳幼児向けのインクルーシブ・ブランドです。子どもたちとその家族の、行動範囲が広がること。前向きな気持ちで、外に出かけられるようになること。大切な人たちとの時間が、より豊かになること。そして、お互い異なる個性やニーズを持つ親子が、自然と交わる機会が増えること。ものづくりを通じて、こうした変化のきっかけをつくっていかれたらと願っています。」

松本さんは大手自動車メーカーのプロダクトマネージャーとして活躍していたが、最初のお子さんに脳性麻痺があることがわかり、子育てをする中で現在の社会福祉制度や障害児とその家族を取り巻く環境に疑問を感じ、起業を決意、2020年にHaluを創業した。

3. IKOU ポータブルチェア

IKOUブランドの製品はポータブルチェア(図1)とBibという名のスタイ(涎かけ)そしてキッズウェアの3種である。今回のキッズフェスタで注目したのはポータブルチェアである。この椅子の基本情報は上田市在住でIKOUのスタッフでもある河井麻未さんから伺っていた。彼女のお子さんも脳性麻痺があり、通園している施設を訪問して知り合った。その後、河井さん親子には企業と開発中のシャワーチェアのモニターを依頼したり、強化段ボールでご自宅で使われる椅子をゼミの学生と制作する中で、IKOUというブランドと開発中のポータブルチェアのことを知った。特に興味を惹いたのは海外のデザイナーと実際に使用する母親がコラボして製品を開発していること。まさにインクルーシブデザインの手法だ。



図1 IKOU ポータブルチェア

4. デザインの特徴

キッズフェスタでは実際に製品を見ながらスタッフの説明を聞くことによって製品の特徴や細部の機能が理解できた。対象は7ヶ月から身長97cm 体重16kgまでの乳幼児としており、成長に対応してバックサポートとヘッドサポートが調整できる。最大の特徴はバックサポートをシート側に倒すだけでコンパクトな箱状になり、ベルトを肩にかけてショルダーバッグのように外出先まで手軽に持ち運べることだ。

長野大学 社会福祉学部

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

う(図2)。筆者も療育センターでリハ工学技士として勤務していたときに、障害児の親から依頼があり、簡単に折り畳めて持ち運びやすい椅子を製作したことがあるが、ここまでスマートにデザインされた製品にはできなかった。

もう一つの特徴は姿勢の不安定な幼児に対して、骨盤や体幹の安定を図るために立体的なサポート形状と最大20度までのティルト機構を装備した点だろう。さらに股ベルトと繋がった腰ベルト、胸ベルト、後方への転倒防止レバーなど配慮が行き届いている(図2)。安全対策として一般的な成人用椅子にしっかりと固定するためのベルトが2本装備されている。アクセサリはシートカバー、テーブル、座面延長パーツが別売で用意されている。また製品の安全については製品安全協会よりSGマーク認証を取得済みである。



図2 折りたたんだ状態と角度調整機能¹⁾

5. タカノの姿勢保持用クッション

タカノ株式会社は1941年に創業した当初はバネの製造メーカーであったが、1964年からオフィス家具事業、1994年から健康福祉関連事業を始めている。タカノハートワークスでは医療・検査用車椅子、歩行器、子供用椅子、そして車椅子用クッションの製造と販売事業を展開している。

筆者は10年ほど前から同社と車椅子に座る高齢者の姿勢を改善する目的でシートクッションを共同開発し、現在はLAPSという商品名で販売されている。この製品を座位保持が不安定なお子さん用にリデザインしたのがLAPS Kidsである。本製品の特徴は長年にわたって車椅子クッションを製造してきた技術を活かして、ウレタンフォームを立体的に加工し、椅子に座る児童の骨盤を中心に包み込むようなサポートを実現している点にある(図3)。

クッション本体の構成はLAPSと同様に臀部の前

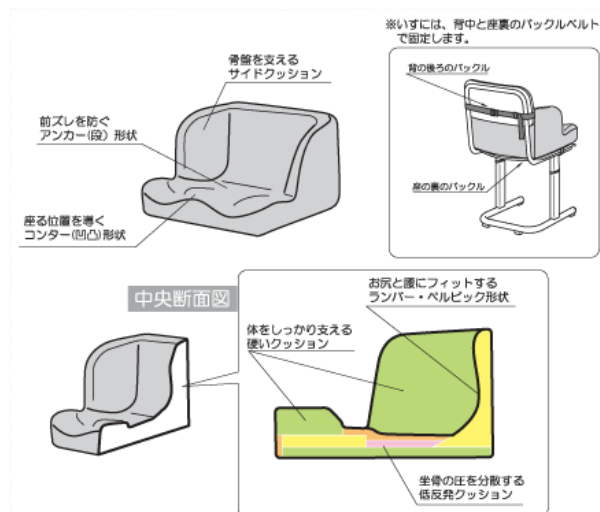


図3 LAPS Kidsの特徴²⁾

ずれを防ぐアンカーサポート、仙骨から腰椎下部を支えるサポート、骨盤の左右方向のずれや傾きを防ぐサイドサポートから構成されている。坐骨周辺には座圧を分散する低反発クッションを採用している。さらに子供用の椅子や大人用の椅子にしっかりと固定できるシートとバックサポートの裏側にバックル付きのベルトが装備されている。

サイズは3歳までのSサイズ、6歳までのMサイズ、12歳までのLサイズの3種類がラインナップされている。カバーはポリエステル製メッシュ生地でグレー地と4色のコンビネーションから選べる。今回のキッズフェスタでは失禁や汚れなどに対応したビニールレザー製カバーを装着したLAPS Kidsが参考出品されていた(図4)。本製品は2018年度のキッズデザイン賞を受賞したことを付記する。



図4 新カバーのLAPS Kids

【参考 Web サイト URL】

- 1) <https://ikoudesign.com/ja/product/ikou-portable-chair/>
- 2) <https://www.takano-hw.com/heartworks/products/cushion/lapskids/>